

時代区分	年代	主な出来事	
旧石器	約30000年前	市内で人が活動し始める（上ノ原山遺跡）	
	約20000年前	山田上ノ台遺跡に石器製作跡、富沢遺跡にキャンプ跡が残される	
原始	縄文	約13000年前	土器の製作・使用が始まる
		六反田遺跡など平野部にもムラが営まれる 上野遺跡・高柳遺跡・山田上ノ台遺跡など 大規模なムラがあらわれる 土偶の製作が盛んになる 下ノ内浦遺跡・大野田遺跡で配石遺構がつくられる 大陸から稲作文化が伝わる	
弥生	BC400年頃	富沢遺跡など仙台平野で稲作が行われる 地震により仙台平野沿岸部で津波の被害を受ける	
	AD300年頃	遠見塚古墳がつくられる	
古代	古墳	400年頃	春日社古墳がつくられる
		500年頃	大野田古墳群がつくられる
飛鳥	600年頃	仏教が伝わる 大化の改新 郡山遺跡に官衙（役所）がつくられる 大野田にも官衙（役所）がつくられる 下ノ内遺跡、六反田遺跡に集落が営まれる	
	奈良	794年	貞観の大地震、仙台平野沿岸部で津波の被害を受ける 源頼朝が征夷大将軍になる
中世	鎌倉	1192年	王ノ壇遺跡で武士の屋敷がつくられる
		南北朝	室町
近世	安土桃山	1590年	豊臣秀吉が全国を統一する
	江戸	1603年	徳川家康が征夷大将軍になる 大野田村、富沢村などができる
近代	明治	1868年 1889年	明治維新 大野田・富沢・富田・山田・鉤取の5村が 合併し西多賀村ができる
	昭和	1932年	西多賀村が仙台市に編入される 富沢駅周辺の土地区画整理が行われる
現代	平成		



ハート型土偶
(大野田遺跡)



木棺墓の副葬品
(六反田遺跡)

富沢駅周辺の遺跡

文化財パンフレット第68集

文化財歴史散策路MAP



出土した土偶
(伊古田遺跡)

革盾模式図
(春日社古墳)

文化財歴史散策路MAP

文化財歴史散策路とは

発掘調査で明らかになった、富沢駅周辺の歴史を2基の総合案内板と14基の説明板で紹介しています。縄文時代から江戸時代まで、様々な時代の人々の営みをご覧いただけます。



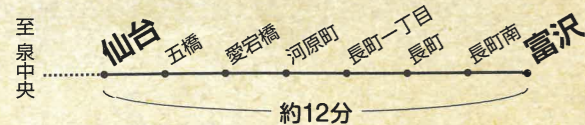
- ① 六反田遺跡 — 縄文時代の集落跡
- ② 六反田遺跡 — 古墳時代の木棺墓
- ③ 六反田遺跡 — 平安時代の集落跡
- ④ 大野田官衙遺跡 — 奈良時代の役所跡
- ⑤ 大野田遺跡 — 縄文時代の墓と祭祀跡
- ⑥ 大野田官衙遺跡と郡山遺跡1
- ⑦ 大野田官衙遺跡と郡山遺跡2
- ⑧ 王ノ壇古墳・王ノ壇古墳古碑群
- ⑨ 王ノ壇遺跡・大野田古墳群
- ⑩ 春日社古墳 — 漆塗りの革盾
- ⑪ 大野田古墳群 — 古墳と埴輪
- ⑫ 伊古田遺跡 — 国内最大級の土偶
- ⑬ 下ノ内遺跡 — 縄文時代の複式炉
- ⑭ 下ノ内遺跡 — 縄文時代の敷石住居跡

富沢駅周辺地区について

富沢駅周辺地区は、約4000年前から人々が暮らしている土地です。平成6年度より健全な市街地の形成を目的とし、“自然や歴史とふれあえる川と出会いのまちづくり”をテーマにまちづくりが行われています。



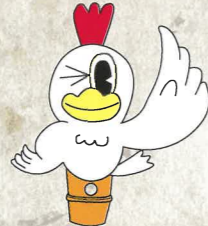
アクセス 仙台駅から…車で約20分
// …地下鉄南北線で約12分(南方最終駅)



遺跡解説



春日くん



とりまる

縄文時代～江戸時代

平安時代の竪穴住居跡



①②③ 六反田遺跡

木棺墓の副葬品

旧荒川南岸の自然堤防上に広がる集落遺跡です。様々な時代の住居跡や建物跡などがみつかっています。古墳時代の墓である木棺墓からとしては、銅鏡が出土しています。平安時代の住居跡からは、当時貴重であった漆紙が出土するなど、周辺でも中心となる集落だったと考えられます。

飛鳥時代～奈良時代初め

掘立柱建物跡



④⑥⑦ 大野田官衙遺跡

おおのだかんだいせき

約1300年前の役所跡です。数棟の大規模な掘立柱建物跡や、それらを長方形に囲む大溝の跡が見つかっています。出土遺物や建物の規模・方向などから、この遺跡の北東1.5kmにある古代の役所跡、郡山遺跡との関連が考えられています。

掘立柱建物跡

縄文時代～古代

土偶が出土した様子



⑤ 大野田遺跡

おおのだいせき

縄文時代後期(約3500年前)のお墓や祭祀に関するもの(遺物)が見つかっています。日常使われる土器や石器の他に、土偶や装飾品なども出土しました。300点ほど出土した土偶の中には、顔がハート型をした「ハート型土偶」もあります。



ハート型土偶

古墳時代

王ノ壇古墳全景



⑧ 王ノ壇古墳

おうのだんこぶん

約1500年前に造られた円墳で、現在も古墳の一部が地中に残っています。古墳の上には近世の石碑や、板碑と呼ばれる中世の供養碑が立っていました。江戸時代の地誌にもその存在が記録されています。現在は公園として整備されています。

鎌倉時代

王ノ壇遺跡全景



⑨ 王ノ壇遺跡

おうのだんいせき

鎌倉時代に造られた道路跡と、それに面する武士の屋敷跡が見つかっています。屋敷は大溝で囲まれており、母屋以外にもたくさんの建物跡があったようです。道路跡は幅が3~4mあり、当時平泉まで続いた「奥大道」の可能性がります。



中世の道路跡

古墳時代

春日社古墳全景



⑩ 春日社古墳

かすがしゃこぶん

周りの溝を含めると直径が47mで、大野田古墳群の中でも特に大きな円墳です。5世紀後半か6世紀初頭に造られたと考えられています。赤や黒の漆で模様が描かれた「革盾」が出土しています。ヤマト王権とつながりをもつ有力者の墓と考えられます。副葬品は仙台市指定有形文化財となっています。

革盾模式図

古墳時代

古墳が見つかった様子



⑪ 大野田古墳群

おおのだこぶんぐん

5世紀後半~6世紀中頃に造られた古墳が40基以上見つかっています。丸い形の円墳がほとんどですが、鍵穴のような形の前方後円墳もありました。古墳の周りからは埴輪が多数出土しています。埴輪の多くは円筒形をしています。朝顔形や家形のものもあります。

縄文時代～平安時代

土偶が出土した様子



⑫ 伊古田遺跡

いこだいせき

縄文時代後期(約3500年前)の特徴ある土偶が多数出土しています。大きいものは長さが41.4cmあり、国内でも最大級の土偶です。土偶4点は仙台市指定有形文化財となっています。



出土した土偶

縄文時代～中世

竪穴住居跡



⑬⑭ 下ノ内遺跡

しものうちいせき

縄文時代中期(約4000年前)の竪穴住居跡が複数見つかり、ムラがあったと考えられています。住居には「複式炉」と呼ばれる石で囲まれた炉があり、床に石をしきつめた「敷石住居」も見つかっています。



複式炉

富沢駅となり 長町南駅 近くには…



ちてい もり 地底の森ミュージアム

約2万年前の氷河期の森と、当時の旧石器時代の人々がキャンプをした跡が見つかりました。世界的にも珍しい遺跡が、発掘されたままの様子で保存・公開されています。

所在地: 仙台市太白区長町南 4-3-1

アクセス: 仙台市営地下鉄南北線 長町南駅から徒歩 5分

開館日: 9:00~16:45 (月曜・休日の翌日は休館)

